## Q 介護人材不足の要因

**A**〈岡﨑長寿社会課長〉

主な要因としましては、仕事が大変であるにもかかわらず、他産業と比べ賃金の低さ、介護時における身体的負担によるきつさなど、マイナスイメージにより採用が困難になっていることに加え、介護予防に力を入れているものの、それをもってしてもなお介護を必要とする方が今後も増える見込みであること、生産年齢人口の減少により介護分野への就職者数が減少する見込みであることなどにより、需要が供給を上回り、介護人材が不足していると考えています。

## Q 「佐賀の介護人財未来(あい)プロジェクト」の取組と、それに至った背景

**A**〈岡﨑長寿社会課長〉

高齢者の増加や生産年齢人口の減少が進む中、介護は非常に尊い職業であるという認識の下、佐賀の若者が佐賀の介護を支えることを目指し、若年層の介護への関心を高めるとともに、福祉系高校での介護資格取得、更には、介護職への就職、定着を支援することで、将来の介護現場を担う人材を安定的に確保する目的でこのプロジェクトを実施するものです。

「未来」と書いて「あい」と読むプロジェクト名には、介護に目を向け、介護に出会い、介護で頑張る若者に注目してもらいたいという思いを込めています。主に次の三つの取組を始めます。

まず、介護職のイメージアップ・関心喚起、次に、介護の資格取得のための支援、そして、介護職への参入・定着です。

## Q 介護職のイメージアップ・関心喚起の取組

**A**〈岡﨑長寿社会課長〉

大きく魅力発信事業と仕事体験事業に取り組むこととしています。まず、魅力発信事業についてご説明します。

介護及び介護の仕事のイメージアップに資するテレビCMの放送やホームページ、SNSでの情報発信、介護の仕事の内容を紹介する冊子の制作、介護に関する情報をまとめたホームページの開設など、広報を活躍し、若者に訴求します。

内容は、それぞれテレビやウェブ等でのメディアを使って、若者をターゲットに、介護の仕事内容やその魅力、やりがい、尊さを広く周知します。また、進路検討段階の中学生を対象に、県内の福祉系高校を紹介することで、入学数の増加につなげるほか、広く県民向けに介護に関する研修や資格情報等を一体的に分かりやすく情報を発信します。

これらの取組により、介護及び介護の仕事について、興味、関心を喚起し、将来的に介護現場への就職促進につなげます。

次に、仕事体験事業についてです。

介護の仕事にあまりなじみがない小中学生を対象として、介護に触れる機会を提供し、介護って楽しい、面白いと感じてもらえるよう、介護現場で働く様々な職種の仕事体験イベントを開催します。

この体験により、普段、おじいちゃん、おばあちゃんと接していることと変わらないなとか、ありがとうと言ってもらえる仕事があったんだ、僕、私でもできるかもしれないと、介護の仕事へのよいイメージをつくり、興味、関心を高め、憧れを喚起することで、介護職が将来就きたい仕事の候補の一つになったり、福祉系高校への入学や介護事業所への就職につながったりということを期待して取り組みます。

## Q 福祉系を学ぶ高校生への支援の取組

**A**〈岡﨑長寿社会課長〉

介護を学ぶ高校は県内に九校あり、通う生徒の多くは卒業後、県内の介護施設に就職しており、今はその中核として活躍されています。

そういった生徒を一人でも増やしていくことが佐賀県の介護の質を高めるためにも特に重要であると考えており、生徒が学びやすい環境をつくろうと、令和元年度から始めている実習服やテキストなど介護実習に係る経費などの負担をなくす事業に来年度も取り組みます。

また、来年度から始める取組としまして、介護福祉士資格を在学中に取得できる三校の卒業生は、県内の介護事業所への就職率が高く、また、その後の定着率も高いことから、この三校への進学者を増やすことが介護の人材育成、確保に有効と考えます。

しかしながら、この県内介護福祉士養成課程実施校は、県内に嬉野高校、神埼清明高校、北陵高校の三校しかありません。そのため、遠方からの通学になる場合があり、定期代がかさむといった理由で福祉を学ぶことをためらうことがないよう、学びやすい環境づくりとして通学費を支援するものです。

具体的には、三校の介護福祉士養成課程コースに在籍する高校生に対し、定期代等通学に係る経費のうち、月五千円を超える部分について支給の上限は定めず支給し、返還の必要がない各個人への補助としています。

## Q 就職する高校生に対しての貸付制度の内容

**A**〈今泉福祉課長〉

若者の介護分野への参入促進を図り、人材の確保と定着の促進を目的としまして、令和三年度より新たに介護福祉士の資格取得を目指す高校生を支援することとしております。

具体的には、佐賀県社会福祉協議会におきまして、県内介護福祉士養成課程高校に通う学生に対し、国家試験の受験対策費用として年額四万円、就職準備金として二十万円をそれぞれ限度としまして貸し付ける制度となっております。

この貸付けにつきましては、卒業後三年間、介護分野の仕事に継続して従事することで返還を免除する制度でございます。

また、介護福祉士養成課程実施高校の卒業生の介護職への定着率も高いので、県内の介護施設への就職及び定着に効果があるものと期待をしております。

## Q 卒業後三年間の根拠

**A**〈今泉福祉課長〉

令和三年度からの新しい制度でございますけれども、実は国庫補助制度を使っておりまして、国の基準で三年間となっております。

## Q 他業種から就職される方に対する貸付制度の内容

**A**〈今泉福祉課長〉

他業種で働いていた方の介護分野への参入促進を目的といたしまして、令和三年度より介護分野就職支援金貸付制度を開始することとしております。

具体的には、先ほどの高校生の支援と同じですけれども、佐賀県社会福祉協議会におきまして、他業種から介護分野に就職する方に対しまして、介護分野就職支援金としまして二十万円を限度に貸し付けるものでございます。

また、この貸付けにつきましては、二年間、介護分野の仕事に継続して従事することで返還を免除する制度でございます。

介護分野への参入及び定着にもつながり、深刻化する人手不足の解消にも資するものと期待しているところでございます。

**TOPICS トピックス**

**SAGA 2024 国民スポーツ大会の大会会期決定**

令和6年(2024年)10月5日(土曜日)から10月15日(火曜日)まで行われます。

※SAGA2024全国障害者スポーツ大会の大会会期は日本障がい者スポーツ協会及び文部科学省にて調整中です。